

2009年

3月13日（金曜日） - 元気の輪を広げる 「元気が出る講演会」 -

本日、京丹後福祉サービス事業者協議会の主催により、「元気が出る講演会」が開催されました。これは、落語家で笑いの療法士である和泉家志ん治さんを招かれて、広く市内の福祉現場で働かれる職員の皆様を対象に、日ごろの慰労とともに暫し笑いの世界を大いに楽しんでもらおうと「元気の出るお話」と題した講演をいただくもので、冒頭出席をさせていただきました。

私は、福祉の根本は、福祉のご行為自体の尊さはもちろんですが、福祉の出し手と受け手とが福祉の行為を通じて互いに心を通わせる、心を共にする、そんな喜びをいただくことにもあるのではないかと感じています。私自身、例えば、福祉の現場に同席させていただくときなど、皆さんから笑顔や元気を無条件にたくさんいただけることを肌身にすごく感じるのですが、福祉の素晴らしさは福祉の行為を通じて互い互いに相手から本当の元気をいただけることにあるとも思います。

今日は、職員の皆さんには和泉家志ん治さんのお話を通じて笑いと感動の元気をたくさんいただかれて、福祉の現場に持って帰っていただいて、それを福祉の元気の輪に加えていただき大切な元気の輪をますます大きく広げていただきたいと願っています。本日も参加の職員の皆さんには、日ごろから福祉の向上に心血を注がれ、心より感謝を申し上げます。